

男女共同参画社会づくりのための 佐賀市民意識調査

【 アンケートご協力のお願い 】

佐賀市では、男女共同参画社会（男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会）の実現を目指して

〔ご記入にあたってのお願い〕

1. アンケートは、封筒のあて名の方 ご本人が 記入してください。
2. 回答は、質問ごとに用意した答えの中から、あてはまる番号に○をつけてください。
3. 記入が終わりましたら、記入漏れや誤記がないか、最後に確認をお願いします。
4. 確認が終わりましたら、7月18日（土）までに 同封の返信用封筒に入れて、返送してください。（切手を貼っていただく必要はありません。）
5. アンケートについて、不明な点やご質問がありましたら、お問い合わせください。

【 お問い合わせ 】

佐賀市 企画調整部 男女共同参画課 （担当）宗・吉田・山田

TEL 40-7014 / FAX 29-2095

Eメール danjokyodo@city.saga.lg.jp



結婚や家庭生活についておうかがいします



問1 あなたは結婚・家庭・離婚についてどのように考えますか。次のA～Dについてあなたの考えに近いものを1つ選び、番号（1～5）に○をつけてください。

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない
A 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
B 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」だと思う	1	2	3	4	5
C 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5
D 結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい	1	2	3	4	5

問2 あなたの家庭では、次にあげるような家庭生活での事柄を、主にだれが分担していますか。未婚の方は「もし、結婚したらどうしたいか」として、次のA～Lについて、あてはまるものを1つずつ選び、その番号（1～7）に○をつけてください。

	主に夫	主に妻	妻と夫が同じ程度に分担	主に子ども	家族全員	その他	非該当（子どもや親がいないなど）
A 家計を支える（生活費を稼ぐ）	1	2	3	4	5	6	
B 食事のしたく	1	2	3	4	5	6	
C 食事の後片付け、食器洗い	1	2	3	4	5	6	
D 掃除	1	2	3	4	5	6	
E 洗濯	1	2	3	4	5	6	
F ゴミ出し	1	2	3	4	5	6	
G 日々の家計の管理	1	2	3	4	5	6	
H 自治会・町内会などの地域活動	1	2	3	4	5	6	
I 高額の商品や土地・家屋の購入の決定	1	2	3	4	5	6	
J 育児、子どもの世話	1	2	3	4	5	6	
K 家族の世話（介護）	1	2	3	4	5	6	7
L PTA活動などの学校行事への参加	1	2	3	4	5	6	7

※ 配偶者がいる方にお尋ねします。

問3 あなたは問2のA～Lの家庭内の仕事について、配偶者にもっとしてほしいことはどれですか。A～Lの中からしてほしい順に3つ選び、下の枠の中にアルファベット（A～L）を記入してください。

配偶者にもっとしてほしいこと…	1	2	3
-----------------	---	---	---

問4 あなたは、1日に平均してどれくらいの時間を家事（育児・介護を含む）にかけていますか。次のA・Bについて、それぞれあてはまるものを1つずつ選び、その番号（1～6）に○をつけてください。

	全くして いない	30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上
A 平日	1	2	3	4	5	6
B 休日	1	2	3	4	5	6

問5 仕事と生活についてお尋ねします。あなたの考えに近いものを次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 「仕事」を優先したい
- 2 「家庭生活」を優先したい
- 3 「地域・個人の生活」を優先したい
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をいずれも優先したい
- 8 わからない

問6 それでは、あなたの現実（現状）にもっとも近いものを次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 「仕事」を優先している
- 2 「家庭生活」を優先している
- 3 「地域・個人の生活」を優先している
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をいずれも優先している
- 8 わからない



教育・子育てについておうかがいします



問7 あなたは、子どもの育て方について、どのような考えをお持ちですか。次のA～Fそれぞれについて、あなたの考えに最も近いものの番号（1～5）を1つ選んで○をつけてください。子どものいない方も、あなたがどう思われるかでお答えください。

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない
A 女の子も男の子も、経済的に自立できるように育てた方がよい	1	2	3	4	5
B 女の子も男の子も、炊事・掃除・洗濯などの生活していくために必要な技術を身につけるように育てた方がよい	1	2	3	4	5
C 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てた方がよい	1	2	3	4	5
D 女の子も男の子も、生まれ持った個性・才能を可能な限り活かして育てた方がよい	1	2	3	4	5
E 女の子も男の子も同じ程度の学歴を持たせた方がよい	1	2	3	4	5
F 女の子、男の子に限らず、好きな仕事を選ばせた方がよい	1	2	3	4	5

問8 わが国では近年少子化傾向にあります。その理由は何だと思えますか。あなたの考えに近いものを次の中から3つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 子育てのための経済的な負担が大きいから
- 2 出産・育児には女性の肉体的・心理的な負担が大きいから
- 3 女性の結婚年齢が上がったから
- 4 女性が仕事をしながら子育てするのが困難だから
- 5 子育てを支援するためのサービス（保育所・児童クラブ等）が不十分だから
- 6 配偶者の育児に対する協力が少ないから
- 7 育児に対して不安を持つ人や自信がない人が多いから
- 8 子どもを取り巻く社会環境に不安があるから
- 9 親が子育てよりも自分たちの生活を楽しまたいと思っているから
- 10 生き方が多様化し、結婚・子育ての生活を選ばない人が増えたから
- 11 未婚のまま子どもを産み育てることが大変だから
- 12 雇用の不安など、将来の暮らしに希望が持てないから
- 13 結婚を望んでいても、相手が見つからずに結婚できない人が増えているから
- 14 その他（具体的に)
- 15 わからない

問9 あなたは、男女の望ましい協力関係をつくっていくために、学校教育の場でどのようなことに力を入れた方がよいと思いますか。次の中から3つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 男女平等の意識を育てる授業をする
- 2 生活面の指導や進路指導において、男女の区別なく子どもの興味（関心）や能力を尊重する
- 3 並ぶ順番や名簿などを男女別に分けない
- 4 教師自身の男女平等についての意識を高めるような研修を行う
- 5 校長や教頭に女性を増やしていく
- 6 性教育を推進する
- 7 性に関する問題について相談できる環境を整備する
- 8 その他（具体的に _____)
- 9 学校教育の中で行う必要はない

問10 あなたは、男性が育児休業をとることについてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 父親として当然である
- 2 父親自身の成長のためにも、とることが望ましい
- 3 職場環境を考えるととりにくい
- 4 休業補償が十分でないのとれない
- 5 育児は女性が適していると思うので、男性がとる必要はない
- 6 男がとるのはみっともない
- 7 その他（具体的に _____)

問11 あなたは、男性が介護休業をとることについてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 家族として当然である
- 2 他に介護する者がいない場合は、とることもやむを得ない
- 3 職場環境を考えるととりにくい
- 4 休業補償が十分でないのとれない
- 5 介護は女性が適していると思うので、男性がとる必要はない
- 6 男がとるのはみっともない
- 7 その他（具体的に _____)



職業生活についておうかがいします



問 1 2 あなたは現在職業をお持ちですか。次のどちらかの番号に○をつけてください。

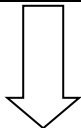
1 持っている
(自営業・パート・内職を含む)

2 持っていない



問 1 3 職業を持っている主な理由を次の中から3つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 生計を維持するため
 - 2 家計の足しにするため
 - 3 住宅ローンなど借金の返済のため
 - 4 教育資金を得るため
 - 5 将来に備えて貯蓄するため
 - 6 経済的に自立するため
 - 7 自分で自由に使えるお金を得るため
 - 8 生きがいを得るため
 - 9 自分の能力・技能・資格をいかすため
 - 10 視野を広げたり、友人を得るため
 - 11 社会に貢献するため
 - 12 仕事をするのが好きだから
 - 13 働くのが当然だから
 - 14 時間的に余裕があるから
 - 15 家業であるから
 - 16 その他
- 〔具体的に〕
- 17 特に理由はない
 - 18 わからない



※ 問 1 2 で「職業を持っている」と答えた方にお尋ねします。

問 1 5 ① あなたは平均すると1週間に何時間働いていますか。2つ以上仕事をお持ちの方はその合計でお答えください。ただし、仕事の休息時間は除きます。

② また、日数では週に何日働いていますか。(仮に、1日1～2時間でも働いていれば、1日と数えてお答えください。) 下の枠の中に、それぞれ数字を記入してください。

① 時間/週

② 日/週



問 1 4 職業を持っていない主な理由を次の中から3つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 経済的に働く必要がないから
 - 2 職業を持たない方が自分のやりたいことができるから
 - 3 家にいるのが当然だから
 - 4 家事も立派な職業だから
 - 5 子育ては自分の手でしたいから
 - 6 仕事と育児や介護との両立が困難だから
 - 7 健康や体力に自信がないから
 - 8 希望どおりの仕事を得られないから
 - 9 配偶者や子どもなど家族が望まないから
 - 10 親や病気の家族の世話をするため
 - 11 現在、学校に通っているから
 - 12 人員整理にあったから
 - 13 家族の転勤のため退職したから
 - 14 定年退職したため
 - 15 働くことに向いていないから
 - 16 働くことが好きでないから
 - 17 その他
- 〔具体的に〕
- 18 特に理由はない
 - 19 わからない



問 1 8 へお進みください
(次ページ)

問 1 6 あなたは、今どのような形で働いていますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 事業主
- 2 正規社員
- 3 非正規社員（嘱託、契約社員、パートタイム、アルバイトなど）
- 4 家族従事者（家業のお店や農林漁業などに従事）
- 5 その他（)

※ 問 1 6で「家族従事者（家業のお店や農林漁業などに従事）」と答えた方にお尋ねします。

問 1 7 家業に従事されていて、労働に見合う分の対価（給料）を受け取られていますか。

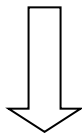
- 1 受け取っている
- 2 受け取っているが労働に見合う分ではない
- 3 受け取っていない
- 4 わからない

※ 問 1 2で「職業を持っていない」と答えた方にお尋ねします。

問 1 8 あなたは今後、職業を持ちたいと思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 今、職業を探している
- 2 そのうち職業を持つつもり

- 3 職業を持つつもりはない



問 2 1へお進みください
(次ページ)

※ 問 1 8で「今、職業を探している」「そのうち職業を持つつもり」と答えた方にお尋ねします。

問 1 9 あなたが働く場合には、どのような点を重視して仕事を選びますか。次の中から2つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 能力や技術、資格が発揮できる
- 2 収入がよい
- 3 勤務時間が自分の生活にあっている
- 4 各種社会保険や厚生施設が整っている
- 5 通勤に便利である
- 6 会社の経営と雇用上の身分が安定していて、長く勤められる
- 7 簡単にできる仕事である
- 8 家庭生活と両立できる
- 9 地元である
- 10 特にない
- 11 その他（具体的に)

問20 もし、あなたが働くとすれば、どのような形で働きたいと思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 事業主
- 2 正規社員
- 3 非正規社員（嘱託、契約社員、パートタイム、アルバイトなど）
- 4 家族従事者（家業のお店や農林漁業などに従事）
- 5 その他（)

問21 あなたは、「女性が職業を持つこと」について、どう思われますか。あなたの考えに近いものを次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 女性は職業を持たないで、家事に専念する方がよい
- 2 結婚するまでは、職業を持つ方がよい
- 3 子どもができるまでは、職業を持つ方がよい
- 4 出産・育児期間は一時退職し、子どもが成長したら再び職業を持つ方がよい
- 5 結婚や出産・育児にかかわらず、ずっと職業をもち続ける方がよい
- 6 その他（具体的に)

問22 あなたは、女性が仕事を続けていくうえで、障害になっていることは何だと思えますか。あなたの考えに近いものを次の中から3つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 職場に、結婚したり子どもが生まれたりすると、勤め続けにくい雰囲気がある
- 2 職場に、女性は定年まで勤め続けにくい雰囲気がある
- 3 賃金に男女格差がある
- 4 短期契約（1年更新の嘱託契約など）等の不安定な雇用形態がある
- 5 女性の能力を正当に評価しないで、補助的な仕事しかさせてもらえない
- 6 昇進、昇格に男女格差がある
- 7 教育・訓練を受ける機会が少ない
- 8 労働時間が長い
- 9 転勤がある
- 10 セクシュアル・ハラスメントがある
- 11 家事・育児・介護への家族の協力が不十分である
- 12 家事・育児・介護のための社会システムや施設等が不十分である
- 13 仕事を続けることへの家族の理解がない
- 14 女性自身に職業をもち続けようという意識がない
- 15 その他（具体的に)
- 16 特に障害はない

問23 現在、女性が結婚や出産によって仕事をやめる場合がありますが、女性が再び仕事に就くために、どのようなことが必要だと思いますか。あなたの考えに近いものを次の中から3つ選んで、番号に○をつけてください。

- 1 正規職員での雇用の場を増やす
- 2 再雇用制度を促進する
- 3 募集要件の年齢制限をなくす
- 4 再就職のための講座や技術訓練等を充実させる
- 5 年金制度や税制度を見直す
- 6 社会全体で「男は仕事・女は家庭」といった固定的な性別役割分担意識をなくす
- 7 家族のための休暇がとりやすい職場を増やす
- 8 家族や夫の理解・協力を得る
- 9 高齢者介護の施設やサービスを拡充する
- 10 保育施設や子育て支援サービスを充実させる
- 11 家事の負担を軽減する有料の家事代行業などを育成する
- 12 その他（具体的に _____)



健康・福祉についておうかがいします



問24 あなたは次のようなことをどう思いますか。次のA・Bそれぞれについて、あなたの考えに最も近いものを1つ選び、番号（1～5）に○をつけてください。

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない
A 妊娠や出産は社会的にも重要な機能であり、社会全体で支えるべきである	1	2	3	4	5
B 性感染症の予防や避妊など、性に関する女性の健康と権利についての学習が必要である	1	2	3	4	5

問25 あなたは、老後の生活について不安はありますか。次のどちらかの番号に○をつけてください。

1 ある

2 ない



問27へお進みください



※ 問25で「ある」と答えた方にお尋ねします。

問26 不安がある主な理由を次の中から3つ選んで、その番号に○をつけてください。

- 1 自分が寝たきりや認知症になるかもしれない
- 2 生活費の不安
- 3 話相手や相談相手がいない
- 4 一人暮らしになるのではという不安
- 5 配偶者に先立たれる
- 6 年金制度への不安
- 7 医療など福祉制度への不安
- 8 働きたくても仕事がない
- 9 適当な趣味がない
- 10 安心して住める家がない
- 11 安心して入居できる老人ホームがない
- 12 その他（具体的に

)

問27 もしも、あなたが「寝たきり」や「認知症」などになって在宅で介護を受けるようになった場合、誰に介護をしてもらいたいですか。次の中から1つ選んで、その番号に○をつけてください。

- | | |
|------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 息子 |
| 3 娘 | 4 息子の妻 |
| 5 娘の夫 | 6 その他の家族 |
| 7 その他（具体的に |) |



社会活動についておうかがいします



問28 あなたが自治会やボランティアなどの社会活動をする場合に、障害になるようなことがありますか。特に障害になると思われるものを次の中から3つ選んで、その番号に○をつけてください。

- 1 仕事が忙しすぎる
 - 2 家事が手いっぱい自由時間がない
 - 3 子どもがまだ幼い
 - 4 高齢者や病人がおり、家を空けられない
 - 5 経済的にゆとりがない
 - 6 精神的にゆとりがない
 - 7 健康的・体力的に自信がない
 - 8 夫（または妻）の理解や協力が得られない
 - 9 夫（または妻）以外の家族の理解や協力が得られない
 - 10 自分に合った活動がない
 - 11 人づきあいがわずらわしい
 - 12 どんな活動があるか分からない
 - 13 その他（具体的に
 - 14 特に障害はない
-)



人権についておうかがいします



問 2 9 あなたは新聞・雑誌・テレビなどメディアにおける性や暴力の表現についてどう思いますか。
次の中からあなたの考えに近いものを2つ選び、その番号に○をつけてください。

- 1 そのような表現を望まない人や子どもの目に触れないようにする配慮が足りない
- 2 性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ
- 3 女性や子どもに対する犯罪を助長する恐れがある
- 4 女性のイメージや男性のイメージについて偏った表現をしている
- 5 その他（具体的に _____)
- 6 特に問題はない

問30 最近、夫婦や恋人同士などの親しい間で、身体的・心理的な暴力を受けること（ドメスティック・バイオレンス＝DV）が問題となっていますが、あなたは次にあげるようなことをしたり、されたりしたことがありますか。次のA～Pについてあてはまるものを1つずつ選び、その番号（1～4）に○をつけてください。

	されたことがある	したことがある	どちらもある	どちらもない
A 命の危険を感じるほどの暴力	1	2	3	4
B 医師の治療が必要となるほどの暴力	1	2	3	4
C 医師の治療までは必要がない程度の暴力	1	2	3	4
D 嫌がっているのに性的行為を強要する	1	2	3	4
E 避妊に協力しない	1	2	3	4
F 大声でどなる	1	2	3	4
G 「女(男)のくせに」「女(男)だから」と差別的な言い方をする	1	2	3	4
H 「誰のおかげで生活できるんだ」とか「死ぬ」などとののしる	1	2	3	4
I 「安月給」や「甲斐性なし」などとののしる	1	2	3	4
J 交友関係や電話、郵便物、お金の使い道などを細かく監視する	1	2	3	4
K 社会活動や就職などを許さない	1	2	3	4
L 生活費を渡さないなど、経済的に押さえつける	1	2	3	4
M 小遣いを渡さないなど、自由に使えるお金を渡さない	1	2	3	4
N 病気などで身体が動かせない時などに、食事の支度をしてくれない	1	2	3	4
O 何を言っても、長時間無視し続ける	1	2	3	4
P その他(具体的に)	1	2	3	4

※ 問30で1つでも「されたことがある」とお答えの方にお聞きします。

該当しない方は問33へお進みください。

問31 あなたはそのような行為を受けた時、どうしましたか。次の中で、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでもかまいません)

- 1 我慢した
- 2 謝ったり、なだめたりした
- 3 抵抗してやり返した
- 4 家族・親族に相談した
- 5 友人に相談した
- 6 婦人相談所や市役所などの相談窓口相談した
- 7 医師やカウンセラーに相談した
- 8 民間の支援グループに相談した
- 9 警察へ通報した
- 10 逃げた
- 11 家を出た(別居した)
- 12 離婚した
- 13 相談しようとは思わなかった
- 14 無視した
- 15 その他(具体的に)

※ 問31で「我慢した」や「相談しようと思わなかった」と答えた方にお尋ねします。

該当しない方は問33へお進みください。

問32 それはなぜですか。次の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでもかまいません)

- 1 どこ(誰)に相談してよいかわからなかったから
- 2 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
- 3 相談しても無駄だと思ったから
- 4 相談したことがわかると、仕返しをされたり暴力がさらにひどくなると思ったから
- 5 相談担当者の言動により、不快な思いをすと思ったから
- 6 自分さえ我慢すれば、何とかこのままでやっていけると思ったから
- 7 世間体が悪いから
- 8 他人を巻き込みたくなかったから
- 9 被害を受けたことを忘れたかったから
- 10 自分にも悪いところがあると思ったから
- 11 相談するほどのことではないと思ったから
- 12 その他(具体的に)

問33 次のような行為はセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）ですが、あなたは職場・学校・地域でしたり、されたりしたことがありますか。
次のA～Jについて、あてはまる番号（1～4）すべてに○をつけてください。

	したことがある	ある されたことがある	見たり聞いたり したことがある	まったくない
A 「男のくせに根性がない」「女には仕事を任せられない」「女性は職場の花だ」など差別的な言葉を言う	1	2	3	4
B 「結婚はまだ？」「子どもはまだ？」としつこく言う	1	2	3	4
C 性的な冗談や質問、ひやかしの言葉を言う	1	2	3	4
D 異性関係が派手だなどと、性的な噂(うわさ)を流す	1	2	3	4
E 異性の同僚をじろじろ眺めたり、容姿を話題にしたりする	1	2	3	4
F ヌード写真やわいせつな本を飾ったり見せびらかしたりする	1	2	3	4
G 接待や宴席で、酌やデュエット、ダンスを強要する	1	2	3	4
H しつこくつきまとう	1	2	3	4
I さわる、抱きつく	1	2	3	4
J 地位や権限を利用して、性的関係を迫る	1	2	3	4

※ 問33で1つでも「されたことがある」と答えた方にお尋ねします。該当しない方は問35へ進んでください。

問34 そのことについて、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。次の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでもかまいません）

- 1 上司・同僚に相談した
- 2 職場内の相談窓口相談した
- 3 公的機関（労働局・県・市の相談窓口など）に相談した
- 4 民間の支援グループに相談した
- 5 家族・友人・知人に相談した
- 6 その他（具体的に
- 7 誰（どこ）にも相談しなかった

問35 あなたは、女性に対する暴力（性犯罪、売買春、パートナーからの暴力、セクシュアル・ハラスメントなど）をなくすためには、どうしたらよいと思いますか。次の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでもかまいません）

- 1 法律・制度の制定や見直しを行う
- 2 DV防止法やストーカー規制法など法律・制度の周知を図る
- 3 法律に盛り込まれた施策を十分に展開する
- 4 犯罪の取締りを強化する
- 5 加害者を更生させる制度を整える
- 6 捜査や裁判での担当者に女性を増やし、被害者が届けやすいようにする
- 7 被害女性を支援し、暴力に反対する市民運動を盛り上げる
- 8 被害女性が安心して相談できる窓口を確保する
- 9 被害女性を保護するための施設を整備する
- 10 家庭における男女平等や性についての教育を充実させる
- 11 学校における男女平等や性についての教育を充実させる
- 12 職場における男女平等意識を徹底させる
- 13 過激な内容のビデオソフト、ゲームソフトなどの販売や貸出を制限する
- 14 テレビや新聞などのメディアが自主的な規制をする
- 15 その他（具体的に)



男女平等・男女共同参画社会についておうかがいします



問36 あなたはこれまでに、男女平等や男女共同参画について話し合ったり学習したりしたことがありますか。次の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでもかまいません）

- 1 友人との間で話し合ったことがある
- 2 パートナー（夫婦・恋人）との間で話し合ったことがある
- 3 親子など家族の間で話し合ったことがある
- 4 新聞や雑誌で関連記事を読んだことがある
- 5 公民館や男女共同参画課主催の講座などに参加したことがある
- 6 地域で所属しているグループ活動の一環として学習したことがある
- 7 学校で話し合ったり学習したりしたことがある
- 8 職場で学習したことがある
- 9 個人で学習したことがある
- 10 その他（具体的に)
- 11 ない

問37 あなたは、男女共同参画に関する次の用語を聞いたことがありますか。次のA～Jについて、あてはまる番号（1～3）にそれぞれ1つ○をつけてください。

	内容まで 知っている	内容までは知 らないが聞い たことがある	全く知らない し、聞いたこ とがない
A 男女共同参画社会基本法	1	2	3
B DV防止法（配偶者からの暴力の防止および被害者の保護に関する法律）	1	2	3
C 少子化社会対策基本法	1	2	3
D 育児・介護休業法	1	2	3
E 次世代育成支援対策推進法	1	2	3
F 佐賀市男女共同参画を推進する条例	1	2	3
G 佐賀市男女共同参画計画パートナーシップ21	1	2	3
H 4月14日 パートナーデー	1	2	3
I ジェンダー	1	2	3
J ワーク・ライフ・バランス	1	2	3

問38 あなたは現在、次のA～Iの分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選び、その番号（1～6）に○をつけてください。

	男性が優遇されて いる	どちらかといえば 男性が優遇されて いる	男女平等になっ ている	どちらかといえ ば女性が優遇され ている	女性が優遇され ている	わからない
A 家庭生活で	1	2	3	4	5	6
B 就職・採用で	1	2	3	4	5	6
C 職場で	1	2	3	4	5	6
D 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
E 地域や社会活動の場で	1	2	3	4	5	6
F 政治の場で	1	2	3	4	5	6
G 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
H 慣習・しきたり等で	1	2	3	4	5	6
I 社会全体で	1	2	3	4	5	6

問39 男女共同参画社会を進めるために、佐賀市では、今後どのような施策を推進していったらよいと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを選んで番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでもかまいません)

- 1 男女共同参画についての理解を深めるための情報の提供を充実する
- 2 企業・地域などあらゆる分野で女性の積極的な登用をすすめるためのPRをする
- 3 保育所・放課後児童クラブ(学童保育)などの子育て環境の整備をする
- 4 学校における男女平等教育を充実させる
- 5 職場における男女の均等な取り扱いに関して企業等へ働きかける
- 6 地域で男女平等をすすめる生涯学習の場や機会を充実する
- 7 高齢者や障がい者に対する介護サービスを充実する
- 8 男女共同参画に関する学習や活動、情報・ネットワークなどの拠点となる施設を設置する
- 9 女性の就労機会が増えるよう、就労情報の提供や職業訓練の機会を提供する
- 10 男女共同参画に関する講座や講演会などを充実する
- 11 女性に対するあらゆる暴力の根絶・防止に向けた取り組みを強化する
- 12 相談の事業の充実やDV被害者のための一時保護施設を設置する
- 13 各種団体などの女性リーダーを養成する
- 14 審議会などの行政の施策方針を決定する場に女性の参画を促進する
- 15 男性の家事能力を高めるような講座を行う
- 16 市役所がモデルとなり女性管理職の登用など女性職員の積極的な登用と配置を行う
- 17 その他()
- 18 推進する必要はない
- 19 わからない

